

令和8年度 国語科 第2学年 年間指導計画・評価規準・評価方法

学期	月	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学 期	4月	見えないだけ	語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。		進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。	
		1 広がる学びへ アイスプラネット	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。	積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	
		[聞く] 意見を聞き、整理して検討する	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。	進んで意見と根拠の関係を整理しながら聞き、今までの学習を生かして根拠の適切さなどについて検討しようとしている。	
	5月	漢字に親しもう 1	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。			
		枕草子	現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を捉えている。	文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。	
		職業ガイドを作る	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。	
	6月	熟語の構成	熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。			学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		2 多様な視点から クマゼミ増加の原因を探る	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。	積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。	
		魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。	自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 資料や機器を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。	
	7月	文法への扉 1 単語をどう分ける？	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。			今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。
		メディアの特徴を生かして情報を集めよう	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。	
		読書を楽しむ	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。			言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。（
	8月	短歌に親しむ 短歌を味わう	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	観点を明確にして短歌を比較し、短歌の構成や表現の効果について考えている。 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。	
		書写 楷書を復習しよう	点画の種類や動きを確認し、漢字や仮名の筆使いや字形の復習をしながら、整えて書いている。	学習課題を書くなかで、穂先の向きや筆圧、動きなどを確かめている。	日本の伝統文化に触れ、学習課題に沿って漢字や仮名の筆使いに注意して書こうとしている。	
		言葉の力	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	
	9月	言葉 1 類義語・対義語・多義語	類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。			今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解しようとしている。
		翻訳作品を読み比べよう	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。	観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	表現の効果について進んで考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。	
		4 人間の絆 ヒューマノイド	話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。	登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。	登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。	
10月	字のない葉書	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。	進んで文章の構成や表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。		
	手紙や電子メールを書く	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付いている。 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。	根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。		
	言葉 2 敬語	敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。			積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。	
11月	[推敲]表現の効果を考える	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。	読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。		
	漢字 2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 聞き上手になろう	文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。 同音異義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。			学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
	モアイは語る―地球の未来	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	文章の構成や論理の展開について考えている。 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。		
12月	根拠の吟味	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。		
	適切な根拠を選んで書こう 意見文を書く	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。		
	聴きひたる 月夜の浜辺	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。			言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。（	
書写 行書と仮名を書こう	楷書に調和する平仮名との違いを確認している。	楷書に調和する平仮名との違いを確認し、行書と平仮名を調和させて書いている。		日本の伝統文化に触れ、学習課題に沿って漢字や仮名の筆使いに注意して書こうとしている。		

令和8年度 国語科 第2学年 年間指導計画・評価規準・評価方法

3 学 期	12月	扇の的 — 「平家物語」から	古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 与一や義経の言動、扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。	登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
		仁和寺にある法師— 「徒然草」から	古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 現代語訳や語注などを手掛かりにして、法師の言動やそれに対する作者のものの見方、考え方を理解している。	法師と同じような経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合っている。 文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じる文章を書いている。	積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
		漢詩の風景	漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。	観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。	学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。
		君は「最後の晩餐」を知っているか	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 文章の構成や表現の特徴について、比較して発見したことを発表している。	粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。
		思考のレッスン2 具体と抽象	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。		学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。
		話し合いの流れを整理しよう	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。	話し合いの流れを整理するときに必要なことを進んで考え、今までの学習を生かして話し合おうとしている。
		立場を尊重して話し合おう	説得力のある根拠と共に、意見をまとめている。	地域や社会で話題になっていることの中からテーマを決め、異なる立場の人の考えを予想しながら考えをまとめている。 互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて話している。	進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
	1月	「自分らしさ」を認め合う社会へ	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。	文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
		文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。	用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。		積極的に単語の活用について理解しようとしている。
		走れメロス	抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。
		描写を工夫して書こう	抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
		文法への扉3 一字違いで大違い	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分など文の構成について理解する。		今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
3月	言葉3 話し言葉と書き言葉	話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。		積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。	
	漢字3 送り仮名	送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしている。	
	評価方法	定期考査、小テスト、長期休業明けテスト	定期考査、小テスト、創作物	ワーク、プリント、創作活動、提出物	